

「みやぎ教育応援団」マッチング会議 参加団体の紹介（PR）

① 公益財団法人 宮城県腎臓協会

医療

臓器移植は病気や事故によって臓器の機能が低下し、移植でしか治らない人に、他の人の臓器を移植し健康を回復する医療です。

日本では、2022年3月末現在で約15,000の方が移植を希望されていますが、移植を受けることができるのは、年間約400人(生体移植を除く)で、他国に比べ少ない現状にあります。臓器移植に関しては、一人ひとりが4つの権利、死後に臓器を「提供する」、「提供しない」、移植を「受ける」、「受けない」を有しており、どの考え方も自由に選択でき、尊重されます。

この講座では、日本の臓器移植制度の概要、他国の状況等を基本に、お聞きいただく対象に、より適切な内容となるよう、関係者と協議しながら対応していきたいと考えています。

② 認定NPO法人防災・減災サポートセンター

防災・安全

小学校・中学校、町内会での防災講演、防災マップづくりなどを行っているNPO法人です。地盤や岩盤を扱う建設コンサルタントの技術士が中心メンバーで、学校周辺の地形・地質や自然災害について座学授業やフィールドワークで、自然災害への関心を持ってもらいたいと活動しています。

地震波や液状化など防災に関係した実験などを実施して、原理や引き起こされる災害についてもお話ができます。限られた人数での活動中なので、準備に時間が必要となります。実施日の2か月前度前にご相談させていただきたいです。県内はどこでも参ります。

費用は交通費+α程度です。ただし、資料のプリントは学校等の主催者をお願いします。ご相談はメールをお願いします。

③ 日本証券業協会 東北地区協会

金融・経済

日本証券業協会は、金融商品取引業の健全な発展及び投資者の保護に資することを目的として様々な活動を行っており、その活動の一環として、公正中立な立場から、学校における金融経済教育の授業を支援しております。

その中で、小学校高学年の児童から中学生までを対象に、会社経営を体験しながら、株式会社の仕組みやお金の流れを学習できるアクティブ・ラーニングの要素を含んだ出前授業を行っております。

そのほかにも、中学生から高校生までを対象とした講義形式のプログラムや、DVDや教師用指導書がセットになった副教材のご提供もごさいます。

いずれも、費用は完全無料となっておりますので、是非ご検討ください。

④ 東北財務局

金融・経済

財務省東北財務局では、難しそうに思える財政や金融を、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業でわかりやすく説明します。

○財政教育プログラム

日本の財政について、わかりやすく解説した後に、タブレットを用いてグループワークを行い、理想の日本の予算を作成し、発表します。日本の財政・将来を自分事としてとらえて考える力を育みます。

○金融経済教育講座

社会人になる前に必要な家計管理や資産形成等の金融知識（金融リテラシー）のほか、金融犯罪被害にあわないポイントなどについて、クイズやゲームを通し楽しく説明します。

⑤ SMBC コンシューマーファイナンス（株）

金融

当社では未来を担う学生や地域の方々が、お金に関する正しい知識を習得と適切な判断が出来るように「SMBCグループ金融経済教育」を無償で行っております。

2023 年度実績

【参加人数】東北6県 約 13,000 名

【内容】生活設計・家計管理、ローン・クレジット、金融トラブル、成人年齢引き下げ、資産形成、キャッシュレス、SDGs ※要望に沿った内容で、構成可能です。

【形式】講義型、アクティブ・ラーニング型

【方法】対面、リモート、動画（HP、DVD）

【対象】小・中・高校生、教職員、社会人

【活用例】

・進路ガイダンスや LHR ・家庭科、社会科の授業 ・総合的な探究の時間 ・社会人向け資産運用

⑥ 成香プロジェクト

学習支援・体験学習

イタリアの小学校で火山の噴火リスクのある山間部と津波や水害の被害リスクのある平野部や沿岸部で相互交流し、平時から遠くにいる心の友づくりをしていると、元東北歴史博物館館長の鷹野光行教授から伺い、将棋の駒の生産で有名な天童市と友好都市である多賀城市の市民の世代間交流を図るために、将棋や相互の歴史を学ぶ生涯学習プロジェクトです。

名前の由来は、鎧に将棋駒、香車をデザインしている伊達成実にあやかって、一人ひとり弱くても、ともに前に進めば成香という強い駒になれることから、「心の友を天童に、心の友を多賀城に、共に歩もう成香プロジェクト」という合言葉で活動中。コロナ禍となって児童生徒の対面での交流が難しいことから、天童市内の学童保育と多賀城市内の児童センターを繋いで、オンライン将棋を開催し新聞でも取り上げられました。天童との交流の写真展も多賀城市立図書館で実施しています。そのノウハウをみやぎ教育応援団活動で活かすつもりです。

⑦ Last Princess Date Yasuko Project 仙台藩主伊達斉義の末娘 伊達保子顕彰会

文化芸術・体験学習

2027年生誕200年を迎える仙台藩のラストプリンセス、伊達保子姫について学ぶ生涯学習プロジェクトで、宮城県教育委員会生涯学習課の学びの輪の研修会の地域課題研修から生まれました。

6月に生まれた11月に父が急死。仙台城二の丸で育てられ巨理伊達家に嫁ぎ、天災や疫病で次々と子供たちを失い失意の中、主である兄、慶邦公が妹癒すため、塩釜や松島の旅を許します。旅の思い出をつづった手紙が北海道に伊達市に残こされており、戊辰戦争後の北海道移住した仙台藩士を励まし開拓の母として伊達保子姫は慕われた存在です。

辛い出来事も旅で癒された史実から、実際に仙台城二の丸から塩釜神社まで歩く23kmという史実に基づき旧暦の9月15日に実施。多賀城市立図書館で、写真展を行っています。今年も10月29日曜日に23km歩きます。デジタルコンテンツも活用しながら、伊達家のラストプリンセス。伊達保子姫を学んでみませんか？

⑧ 宮城県国際化協会（MIA）

国際理解

宮城県国際化協会（MIA）では地域における国際理解教育の推進を目的として宮城県在住の外国人講師を県内の小中学校等に派遣する学校訪問プログラム【MIA国際理解教育支援事業】を行っています。講師はアジア、ヨーロッパ、北米、中南米、アフリカなど様々な地域の出身者で留学生、宮城県の国際交流員（CIR）、国際結婚の方、ビジネスをしている方などバラエティに富んだメンバーです。

そんな外国人講師が母国について紹介し小中学生が海外の文化などを学ぶ機会を提供しています。参加した生徒からは、名前しか知らなかった国についてたくさん学べた、日本で普通であることが他国ではそうではないことを知れたなど、たくさんの感想をいただいています。

令和5年度は訪問型かオンライン型かを選択できます。ご関心がある方はぜひ当協会までお問い合わせください。

⑨ ヒッポファミリークラブ

国際理解

当クラブは、多世代の仲間達と多言語が自然に育つ環境を40年以上作り続けています。他に国際交流活動や「ことばはどのように出来ていくのか」などの研究活動も行っており、2021年には5年かけて行われたMIT、東大、当クラブとの共同研究で「多言語における脳活動の活発化、重要性」が裏付けられました。

社会教育活動では地域や学校と連携し、毎年小学校での出前授業、幼稚園や幼児向けの講座などを受け持たせていただいております。

⑩ (独) 国際協力機構東北センター (JICA 東北)

国際理解・国際協力

JICA 東北では、開発途上国経験をもつ講師の派遣(国際協力出前講座)、JICA 東北センターの訪問受入(訪問学習プログラム)、6月～9月に作品を募集する「国際協力エッセイコンテスト」など、児童・生徒の皆さんの国際理解を深めるための様々なメニューを準備しております。探究学習やキャリア教育の一つとして、ぜひご利用をご検討ください！

また、学校の先生方を対象とした各種研修も開催しています。海外での短期研修を含んだ「教師海外研修」、海外でのボランティアプログラムとして、青年海外協力隊を含む「JICA 海外協力隊」も再開となりました。途上国での実体験を児童・生徒の皆さんの学びに活かしていただけるチャンスとなりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております！

⑪ 管路管理総合研究所

自然・環境

生活に欠かせないけどあまり知らない下水道について、クイズや実験を交えながら楽しくわかりやすくお伝えする出前授業を行っています。

小学生を中心に、幼児から高齢者まで対象の方に合わせた教材を作成しています。県内どこでも申込者様ご希望の場所で実施することができます(実施会場はご用意ください)。2007年から活動を始め、これまでに47都道府県で1,200か所・8万人が受講しました。

⑫ 宮城県立白石高等技術専門学校

職業訓練

本校では、デジタル時代を担う人材を育成しております。情報通信ネットワーク科とプログラムエンジニア科の2科があり、多様化した通信システムに幅広く適応できる知識・技能や、プログラムの作成やシステムの開発・保守・運用などの業務に適応できる知識と技能を習得できます。

※ 東北大学で開催されたサイエンスデイに出展し、小学生を対象にスマホアプリやmicro:bitのプログラミング体験を行い、表彰された実績あります。

⑬ えぞこホール 仙南芸術文化センター

文化・芸術

仙南芸術文化センター(えぞこホール)は、大ホールや平土間ホール、各練習室や会議室等の貸館事業のみならず、住民主体の音楽グループや劇団・ボランティアの方々の文化芸術活動をサポート、音楽・演劇・古典芸能・異文化体験プログラム等、優れた舞台表現にふれる機会の提供、また、普及事業として、ホールに来館する機会の少ない方々を対象に、ホールが地域に出向いて展開するアウトリーチ事業(一流アーティストが学校、福祉施設等を対象に実施)や住民の皆さんを対象に気軽に文化芸術にふれていただくための各種ワークショップを展開しています。

⑭ NPO 法人せんだい杜のこども劇場

子ども・芸術

当法人は遊びや芸術文化を通して、子どもたちが心豊かに成長できる環境づくりをしています。

■主な事業：

仙台市の榴岡や新田児童館の指定管理及び、富谷市の成田小や成田東小児童クラブの受託事業、芸術文化や自然の体験事業、子育て応援ダイヤル「ママパパライン」やサロン等の子育ち応援事業。

■みやぎ教育応援団での支援：

児童館や法人事務局での就業体験。子育て支援者のための養成講座の講師・指導者派遣。子どもから大人向けの防災エンブショー、遊びや工作のワークショップ等も行います。

⑮ 株式会社 明治

食育

身近な食材、食品を通じて、自然の恵み、健康な体づくりについて「食の大切さ」「食の楽しさ」「食の魅力」を学び、人・動物・モノに対する感謝の気持ちを育む、「食育セミナー」を実施しています。

対象は、小学校児童からシニアまで、また大人向けプログラムは PTA 研修会にもおススメです。さらに、企業・法人向けの健康経営コンテンツと幅広く対応。

所要時間は 45～90 分（応相談）。健康経営プログラムは、30～40 分。

栄養士の資格を持った明治の社員が講師となり、各対象に合わせたカリキュラムで、五感を刺激してわくわくするスライドやクイズなどを交えながら実施します。自らが「気づき」「考え」「行動する」学びにつなげることができる内容です。

また、バーチャル工場見学や SDGs など、魅力的な新しいプログラムを追加。

対面セミナーはもちろん、すべてのプログラムでオンライン開催が可能です。オンライン接続に関しましては弊社が全てサポートしますので、安心して受講いただけます。

東北 6 県のどこでも開催可能。費用はすべて無料。

⑯ メタウォーター（株）（みずむすびマネジメントみやぎ）

自然・環境

子どもたちに水の循環について学んでいただく機会を、座学と体験の双方で提供します。具体的には、自然の大切さや浄水場・下水処理場の仕組みを絡めた水循環の説明後、実際に水道水をつくるのに使用しているセラミック膜ろ過の実演や、ペットボトルで作った砂ろ過器で泥水をろ過する実験を行い、「水をきれいに！」を実感してもらいます。本機会を通じて、普段当たり前にある水に、興味を持ってもらうことを目指します。

また、宮城県内の 4 つの浄水場、4 つの浄化センターを管理運営している「(株)みずむすびマネジメントみやぎ」（弊社の子会社）のスタッフも参加します。

ぜひ、出前授業や施設見学等、皆さまのご要望をお聞かせください！

⑰ (一社) フードバンクいしのまき

環境

当法人では、企業や家庭から賞味期限にも関わらず何らかの理由で生じる余剰食品の寄贈を受け、食に事欠く世帯へ対し行政や社会福祉協議会など生活支援機関からの要請に対応する他、子ども食堂など地域交流活動団体などへ集まった食品を無償で提供する「フードバンク活動」を宮城県内で展開しています。食品ロスの削減推進と、生活困窮といった地域課題の解決に取り組んでいます。

⑱ (公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会

環境・SDGs・エシカル消費(食品ロス削減他)・インターネット被害未然防止・製品安全

当団体は、行政（消費生活相談など）、企業（OB含む）、消費者団体などで活動している幅広い経験・知識を有する会員で構成されている公益法人です。

特に、消費者教育・啓発、学校等への出前講座に力を入れ取り組んでおり、成年年齢引き下げ及びインターネットでの消費者被害未然防止、SDGs及びエシカル消費での環境問題や食品ロス削減の啓発などと幅広いテーマで会員の専門性を活かしています。

消費者庁とも協働して啓発教材を作成し実践に活用したり、食品ロス削減では食品ロス削減推進サポーターの委嘱を受け啓発に取り組んでいます。また、SDGsの推進と食品ロス削減の実践活動としてフードバンクの支援も行っています。

⑲ ロゴス・つなぐ

食・住・遊・教・医

宮城県内全域・福島県の一部地域の小中高を対象にして、さまざまな企業・各種団体との異業種・産学官連携で食・住・遊・教・医の5つをテーマにした学習体験の場の提供と機会づくりの活動を行っています。実施にあたっては、ご要望に合わせて対応をさせていただきます。

詳細については活動ウェブサイトをご参照ください。

<ここからは、本日参加されないみやぎ教育応援団さんの PR 文です>

ウェブデザイン たがじょう

プログラミング

テーマ Windows10 に標準で付属するアプリだけで作る超シンプルなホームページ

学校のクラス、PTA、町内会で手作りのホームページを作ってみませんか？

テキストエディタは「メモ帳」だけで大丈夫。デジタルカメラで撮った画像をホームページの好きな位置に入れることもできます。

ホームページの作り方を知ると 詐欺的なページの小細工に引っかからないという効果も得られます。仙塩地区でしたら支援にお伺いすることもできます。スカイプなどのウェブ会議システムを利用できる場合には遠方でも対応できます。

おてんきぼうさいラボ

自然科学・安全

『わくわく・ドキドキ、驚きと発見の実験教室！』

空気砲や気圧の実験など

お天気を中心とした 楽しい、面白い、不思議な実験の数々。

いくつかは、子どもたちにも体験してもらいます。

理科の学習にもなります。

お気軽にお問い合わせください。

お待ちしております♪

湊水産 株式会社

体験活動

参加者数 3000 人突破！わくわくドキドキ、夢中になる楽しい体験は、あまりの人気に口コミだけで予約がいっぱい!! 幼児から大人の大先輩まで一瞬にして、誰もが「たらこ先生の魅力」に引き込まれます。

ここでしか作れない、世界にひとつだけの「私が作ったできたてのたらこ」は、お持ち帰りいただいて食卓一番のごちそうになることでしょう。学校、野外学習、自治会、社会教育学習、知り合い同志、グループ等…、8 人以上なら何人でも OK です（最高参加人数 160 名）エプロン等の準備物一切必要ナシ。気軽に参加可能。修学旅行・課題学習の受入れプログラムあり。県内外への出張開催も行っています。気軽にご相談ください。

NPO 法人防災士会みやぎ

防災

私たち特定非営利活動法人(NPO 法人)「防災士会みやぎ」は日本防災士会宮城県支部で、防災士の集まりです。

防災・減災の啓発活動を通して、地域の安全安心なまちづくりのために自主防災組織や町内会、公民館、婦人会、行政職員など、様々な場面で防災講話や避難所運営訓練、応急手当訓練、初期消火訓練、防災関連ゲームなどを行っています。

また、幼保、こども園、小中高等学校での出前事業の実施、私たちが作成した減災絵本「リオン」を使用して小学校、幼稚園や保育所、児童館などで紙芝居や読み聞かせなども行っています。

「防災士会みやぎ」には、様々な専門の職域の会員がおりますので、それぞれのニーズに合わせた防災・減災に向けた活動を行っています。

希望される学校・団体は、防災士会みやぎの事務局へ電話若しくはメールでご相談ください。電話番号やメールアドレスは、「防災士会みやぎ」のホームページからご確認をお願いします。

最後に、本団体は、有償での活動となりますことをご理解ください。

県の事業の一つである「学校防災アドバイザー事業」を通しての依頼も可能な場合がございますので、そちらもご参考にしていただく方法もございます。

(一社) 日本損害保険協会東北支部

金融・経済

日本損害保険協会では、消費者教育・啓発の取組みを推進しており、高校生および小学生向けに次のプログラムを設けております。ツール提供はいずれも無償ですので、お気軽にご利用ください。

○【高校生】高校生が大学生へ、さらに社会人になるにあたって知っておきたい身の回りのリスクや、その備えなどを学んでいただくために、授業で活用できる教材(冊子・動画)を無償提供しています。

○【小学生】防災・防犯・交通安全に関する設備等を見て回り、マップにまとめる実践的な安全教育プログラム「ぼうさい探検隊」を行っており、文部科学大臣賞なども設けたマップコンクールも併せて開催しています。

宮城学院女子大学

大学

本学では高校生の進路選択の一助として、大学教員が高等学校に出向き、さまざまな学問分野の講義を行う高校生向けの出張講義を実施しています。高等学校における学習指導や進路指導の一環として、ぜひご活用ください。

下記 URL より各学問分野の開講可能なテーマをご覧ください。ZOOM 等のオンラインでの講義実施も承りますので、本学入試広報課までご相談ください。

<https://www.mgu.ac.jp/admission/lecture/>

宮城学院女子大学 入試広報課

TEL : 022-279-5837 FAX : 022-279-5978

メールアドレス : nyushi@mgu.ac.jp

認定 NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・宮城

福祉

スペシャルオリンピックス日本・宮城（以下 SON・宮城）は、知的障がいのある方 たちに日常的なスポーツプログラムを提供する活動を行っている国際的組織です。

SON は全国 47 都道府県全てに地区組織があり、SON・宮城は全国で 6 番目に設立されました。日々ボランティアの方々に支えられながら活動をしており、12 競技のスポーツプログラムを開催しております。また、常時ボランティアの方を募集しております。競技のボランティアは、その競技経験が無くても参加できますので、興味のある方はぜひご連絡下さい。

仙台北税務署

金融・経済

仙台北税務署税務広報官は宮城県租税教育推進協議会事務局として宮城県内の小・中・高校等に租税教室の講師を派遣しています。

租税教育は、わが国の次代を担う児童や生徒に対し、健全な納税者意識を養うことを目的としています。

私どもは、より多くの児童・生徒等が税に関して触れる機会が得られるよう、先生方のご要望に沿った出前授業をご提案いたします。講義型のほか、グループワークなどの参加型授業や、先生方が行う税の授業の補助者となること、他団体（財務局・選挙管理委員会・年金事務所等）との共催等もご提案できます。

一般社団法人 宮城県建設業協会

体験活動

当協会は、県内本社の土木・建築の地元ゼネコン約 250 社が構成員となる組織です。県内に 9 支部あり、県内各地に会員企業が存続し、建設事業に携わり、災害時対応をはじめ、住民の安全・安心で快適な暮らしを支える活動を展開しております。

【講師・指導者の派遣】

・県内各地の建設現場で施工をしておりますことから、県内各地での「ものづくり」の現場を提供し説明することができます。

・「ものづくり」や建設業の楽しさを実感できる出前講座では、建設にまつわる土や鉄筋、コンクリートを使っの「光泥だんご」「コンクリートでのペーパーウエイト」や「鉄筋を使った風鈴」づくり等のワークショップを提供することができます。

東京証券取引所は、『出前授業・オンライン授業』と、東証アローズの『受入れ見学』を行っています。

『オンライン授業』は、東証アローズをオンラインで見学し、刻々と変わる株価を見ることができ、質問をすることも可能です。小学生には、「株式会社と私たちの暮らし」、中学生には、「株式会社のしくみ」などをテーマに、経済・株式について正しい金融知識を身につけてもらうことを目指します。また、「キャリア教育」としても活用でき、職業講話や、親子で一緒に学ぶことも可能です。

『受入れの見学』は、修学旅行のグループ活動で活用をされています。ご検討ください。(宮城県内
2019年度 21中学校229名)

